

# 修学旅行新聞

発行所 財団法人協会  
全国修学旅行研究会  
発行人 前田  
〒101 東京都千代田区  
神田錦町1-17-1 (NK第一ビル)  
電話 03 (5259) 0631  
振替 00160-7-36337

財団法人全国修学旅行研究会(全修協)は、日本の教育の振興に寄与することを目的とし、教育を熱愛し子供たちの幸福を希求する人々の支持を得て、修学旅行の改善向上を目指して、全国的規模で活動する文部省許可の教育研究財団である。

## 自ら学ぶ修学旅行を

### 近畿と関東で中学校の研究会

「体験を重視し、自ら学ぶ意欲を高め、心に残る修学旅行を求めて」を主題に

#### 近畿地区中学校修学旅行研究大会

11月22日に奈良で開催

第十一回近畿地区中学校修学旅行研究大会(主催)近畿地区公立中学校修学旅行委員会、財団法人全国修学旅行研究会、後援)近畿二府四県教育委員会、奈良県教育委員会、が、十一月二十二日、奈良県学校共済組合、春日野荘で開催され、近畿二府四県から約二百二十名が参加、和歌山県・奈良県二校の実践研究発表、研究協議の後、奈良県教育委員会の指導助言が行



320名が参加した関東の研究会 (11月29日・市原市)

大会は十三時三十分、東野雅巳副会長(富田林市藤陽中学校)の司会で開会、主催者を代表して、藤井政勝会長(生駒南中学校)、前田寛全修協理事長代行のあいさつ、来賓として丹生明奈良県教育委員会学校教育課長、吉村崇奈良県校長会会長の祝辞があった。

研究実践発表は、大会主題「体験を重視し、自ら学ぶ意欲を高め、心に残る修学旅行を求めて」に基づき、一、和歌山県美山村立愛徳中学校 岩崎篤校長「学ぶ喜びを求めて」二、奈良県大和高田市立片塩中学校 佐藤政幸教諭「大規模校における修学旅行実施に伴う班別活動の導入について」の二校、愛徳中は小規模校で三校連合、片塩中は大規模校と連合、片塩中は大規模校と対照的な学校だが、いずれも班別活動を通して生徒の意欲を高め、心豊かな人間性を育成することを、三年間

第三十二回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会「主体的に活動し、自ら学ぶ意欲を高める」をテーマに、十一月二十九日千葉県市原市の勤労会館YOUホールで開催され、関東各地から東各県教育委員会ほかの後援により十三時に開会し、最後に高橋茂副会長(大津市北大路中学校)の本年テーマは「主体的に活動し、自ら学ぶ修学旅行」

発表後、活発な研究協議が行われ、千葉県教育委員会小林芳和指導主事の適切な指導講評があった。十六時三十分閉会した。

「生徒の自主性を高める修学旅行のあり方」

「自主性を高める修学旅行の取り組み」

「自主性を高める修学旅行の取り組み」

## 主張

### 祝日月曜三連休は必要か

理事長代行 前田 寛

「祝日三連休推進会議」という団体が設立され、活動を開始したが、教育・観光・旅行関係の業界紙で大きく報道された。その趣旨は、現在十四日ある国民の祝日のうち、成人の日・海の日・敬老の日・体育の日を月曜日にスライドさせて、四季ごとに三連休をつくることを想定し、平成十年までに、キャンペーンや署名運動などで国民の合意を形成し、国民の祝日に關する法律の改正案を国会に提出する方針であること。

祝日の曜日指定の動きが始まったのは平成四年六月、民間団体の余暇開発センターが、通産省の委託による研究の結果として「やむを得ない時」への報

出発日から外泊という意見が出てきた。土・日を合わせた修学旅行を実施するのは、学校週五日制の趣旨に逆行するものであること、そして休日勤務する教師が、規則通りに代休を消化するなどの困難性などが主な理由と考えられる。仮にこの考え方を実行するならば、修学旅行の回期的な輸送形態として四十年余りにわたって定着確立されてきている、修学旅行専用電車による連合輸送の根拠からの見直しが必要となる。まして、三連休化が制度化された場合、この問題は更に深刻化し、連合輸送の崩壊の懸念すらなされる。



小杉文相

### 文部大臣に小杉 隆氏

政務次官は佐田氏に

第二次橋本内閣が十一月七日組閣され、文部大臣に小杉隆衆議院議員(東京五区)がそれぞれ就任した。

授けにより十三時に開会し、主催者あいさつ、来賓祝辞に続いて千葉県二校が研究発表を行った。

「自主性を高める修学旅行の取り組み」

「自主性を高める修学旅行の取り組み」

### 風紋

今年日本が国連に加盟して四十年になる。検定協会は、漢字の一字「和」を選び、国連ハメッセに託した。

その発表式がニューヨーク国連本部前のユニセフビル屋上で行われたのは今秋のことだ。一つの文字で豊かな意味を表すことのできる漢字文化を世界に発信しようという企画したもので、一般から公募し、三千四通、五百五十四の文字が同協会に寄せられた。その中で「和」が最も多く、五百八通に上り、愛、人、心、輪などが上位を占めたという。漢字は元来象形・指示から発達した表意文字だ。春・夏・秋・冬は季節を、晴・曇・雨・雪は天候を表し、生活と関係が深い。喜・怒・哀・楽は人の感情を端的に物語る。生・死は人間にとって基本的な問題だし、老・若・男・女を問わず健やかでありたいと願う。衣・食・住は生きていくための基礎だ。小・中・高の修学旅行も一字で表してみたい。そのうちの「和」は日常と異なる生活環境にあって、教師と生徒及び生徒相互の人間関係を深めること。から、友とか絆・心などが思い浮かぶが、どうだろうか。平成八年もあつた。当協会では山本理事長の計報に始まった年でもあった。司馬遼太郎・遠藤周作、そして瀧美清ら多くの有名な人も鬼籍に入った。悼。という文字を送りたいと思う。平成九年、新年を「寿」とともに「和」を重んじ、人々の「絆」が強く結ばれる年を願う。

夢と感動の修学旅行

人が好き。地球が好き。旅がスキ。

近畿日本ツーリスト

運輸大臣登録旅行業第20号 (社) 日本旅行業協会会員

楽しい旅に、大きな安心。

「学校旅行総合保険」をおすすめします。

東京海上火災保険株式会社

本店 東京都千代田区丸の内1-2-1 ☎03-3212-6211(代表)

# 教育の窓

教育課程審議会は、平成八年八月に第一回会合を開き、すでに五回を数えている。月一回平均のペースだ。

人間として調和のとれた成長を目指し、心身ともに健全で、21世紀を主体的に生きるための国民の育成を期することを願い、教育課程の基準の改善について審議している。

第15期中教審の答申を踏まえ、完全学校週五日制の下で、各学校がゆとりのある教育活動を展開し、一人一人の子どものために「生きる力」を育成するために、教育内容の在り方はどうあるべきかの検討である。

検討に際し、五つの観点があげられている。

- ①自ら学び、自ら考える力を育てる。創造性を育てる。
- ②一人一人の個性を生かし、豊かな人間性を育てる。
- ③基礎・基本の指導の徹底を図ること。
- ④社会の変化に適切に対応すること。
- ⑤各学校段階を通じて調和のとれた教育を図ること。

## 教育課程審議会の検討内容

文部省初等中等教育局  
主任視学官 渡部 邦雄



自分で課題を見つけ、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよき問題を解決する資質や能力などの「生きる力」の育成や創造性を積極的に伸ばすことが求められている。学校づくりの推進のため

日、問題解決的な学習や体験的な学習の充実を図ることとともに評価の在り方も含めて検討されることとなる。

中学校の各教科等の選択幅の拡大、高校の生徒の多様な対応した教育の在り方、生徒選択の一層の拡大などがある。個に応じた指導の充実や特色のある学校づくりの推進のため

また、豊かな人間性となる力・適性等に応じた教育の充実のため、自然、社会、他者との

授業時数の削減をはじめ、知識の伝達や暗記に陥りがちな内容、各教科段階や学年間、各教科間の重複する内容、学外活動で身につけることなど、適切な内容の精選が検討される。

また、子どもの心身の発達に応じ、各学校段階相互の密接な関連と全

## 沖繩の強烈な印象

大阪府立四条畷高等学校  
片岡 芙美

私は、十月十八日関西空港に着いた時からドクトキに乗り、飛行機に乗るのも沖繩に行くのも初めてだったからだ。私は離陸する時、また沖繩に着いてもいいのに、やたらとほしかった。約一万メートル上空は真っ青で感動した。

那覇空港に着いたらさすがに暑かった。バスはバス特有の臭いがなく、ガイドさんもきれいで、こんな素敵なバスを乗るなんて、うれしすぎる。説明してくれ

たり歌を歌ってくれたガイドさんは初めてだった。四日間いろいろ回った中で、一番心に強く残った事は、三日目に行った塚と、夜にあった元ひめゆり学徒隊、負傷者たちが寝静まるまでウジ虫が傷口の肉を食べている音が聞こえたこと、傷口を縫った切断した手足を捨てて行くのに慣れたという話が、中でも脳裏に焼きついた。

二日目までは琉球村や国立海洋博記念公園など観光中心の楽しい思い出ができた。

宮城喜久子先生の講演会だった。ガラビ嬢は、入口にたどり着くまで下から見る、こんな所登れるの、という位私にしてみたら険しかった。塚の中に入ると、本当に真暗で運動不足の私にはかなりきつかった。奥まで行って「皆、懐中電灯を消して」と言われて消すと、もう何も見えなくて少しゾクとした。

講演会では、今では考えられない私たちに耐えられないことばかりだった。夜、負傷者たちが寝静まるまでウジ虫が傷口の肉を食べている音が聞こえたこと、傷口を縫った切断した手足を捨てて行くのに慣れたという話が、中でも脳裏に焼きついた。

二日目までは琉球村や国立海洋博記念公園など観光中心の楽しい思い出ができた。

が、三日目は忘れてはならない沖繩戦の様子を見た。思いがけず、改めて戦争の悲惨さを知った。まさしく有意義な修学旅行だった。

◇四条畷高旅行行程◇  
10/18 関西空港→那覇→安保の見える丘(嘉手納)→琉球村→恩納村泊

10/19 恩納村→万座毛→ネオパークオキナワ→海洋博記念公園→恩納村泊  
10/20 恩納村→学校別活動→南部戦跡めぐり→那覇市内泊

10/21 那覇→首里城→さくらセンター→那覇→関西空港

10/22 那覇→首里城→さくらセンター→那覇→関西空港

**HAPPY MONDAY**

「祝日三連休」目指し  
推進会議が発足

祝日を「日」に指定し「祝日三連休」に變更し「三連休を増やそう」と、「祝日三連休推進会議」が十一

月五日発足、会長に木村尚三郎東京大学名誉教授が選任された。

「ゆとりある生活」「真に豊かな余暇」を目指し、現在十四日ある国民の祝日のうち、成人の日・海の日・敬老の日・体育の日を、それぞれ一月一日・七月三日・九月三日・十月三日に移動し、三連休を増やそうというものである。

会員は(社)日本観光協会、(社)日本旅行業協会、JTBグループ六社など観光、スポーツ、レクリエーション、労働関連の二十団体。「ハッピーマンデー」をキヤッチフレーズに、法律改正案を平成十年に国会へ提出しようとしている。

活動を開始した。

同会議事務局→〒100 東京都千代田区神田小川町一丁目一五D&F 御茶ノ水ビル ☎03-3292-2201

阪神・淡路大震災の遺児たちに奨学金を!!

兵庫県学校厚生会と兵庫県教職員組合協議会事務局→〒600 神戸市中央区北長狭通四一七三四 兵庫県南部地震遺児奨学金基金・石井亮一理事 ☎078-3331-9311 (長)を昨年春設立した。給付額は月額小学生三千円、中学生五千円、高校生八千円、二百三十名の遺児に給付されている。

名義「財兵庫県学校厚生会」兵庫県南部地震遺児奨学金

継続していくので、国内外から賛同・寄付を得ているが、更に多くの方々の協力と援助を呼びかけている。

郵便振替口座→011-60-660024

——修学旅行の楽しいお食事——

**箱根彫刻の森美術館内 レストラン コンポート**

◇500名様迄、ご利用いただけます。  
◇当レストランは、彫刻の森美術館内の施設ですので、入館を必要とします。

〒250-04 神奈川県足柄下郡箱根町二の平1121 ☎0460(2)2221 (予約センター)

●修学旅行/林間学校/スキー体験学習

**奥日光の自然と仲間たちとの語らい……**

夏は林間学校、冬はスキー  
自然探勝の基地として日光国立公園内にたつ当ホテルをご利用ください  
鉄筋3階建/小学生550名/中学生550名/高校生450名収容/大浴場あり

**奥日光高原ホテル**  
〒321-16 栃木県日光市湯元温泉 TEL. 0288(62)2121(代表)

東京コマ旅行会館は  
第8回優秀防火建築表彰で  
建設大臣賞を受賞いたしました。  
東京でのお泊りは  
安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近に望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様により有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

**東京 コマ旅行会館**

ホテル〈全館和室〉  
東京都港区六本木1丁目7番地 TEL (03) 3585-1046(代表)

豊かな自然が息づく湖尻高原の中心。  
箱根高原ホテルは、深い緑の中に700名収容の大ホールや、中小の研修室など、数々の施設が整っています。その他体験コースもいろいろ。心にとこる想い出づくり。感動づくりに素晴らしい環境です。

**箱根高原ホテル**  
〒250-05 神奈川県足柄下郡箱根町湖尻 ☎(0460)4-8595代 FAX.(0460)4-9488